

令和 7 年 1 月 1 4 E 江戸川区立宇喜田小学校校 長 青 山 美 和 子

新年を迎え、1年の締めくくりとなる3学期が始まりました。まだまだ寒い季節ですが、よく食べ、よく動き、 夜はしつかりと休み、年末年始に乱れがちな生活リズムをしつかりと整えていきましょう。今年度もあと3ヶ月、

安全で美味しく、子供たちが笑顔になれる給食を作ってまいりますので、よろしくお願いいたします。

1月の給食目標は「体を温める食事をしよう」です。給食では、根菜類を積極的に取り入れ、温かい麺類やスープ、煮物を毎日提供します。ご家庭でも、鍋料理や温かい麺・汁物など、料理法を工夫するほか、体を温める食べ物を食事に取り入れて、体の芯から温かくなりましょう。



1月24日~30日は、全国学校給食週間です!

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町(現:鶴岡市)の私立忠愛小学校で提供されたのが 始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。

戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA(アジア救済公認団体)」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日~30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などを皆さんに知ってもらい、学校給食についてあらためて考える機会にしてほしいと思います。



学校給食週間

~給食で味わう郷土料理~

全国学校給食週間の期間中に、日本全国の郷土料理が4つ登場します。給食を通して、いろいろな地域の料理に興味をもってもらえたらと思います。



みんなの給食 ~給食から SDGs を考える~

「SDGs」とは持続可能な開発目標を意味し、2030年までに17のゴールを達成しようと掲げた国際的な目標です。江戸川区では、誰もが安心して自分らしく暮らせる共生社会の実現のため、SDGsを推進しています。児童のみなさん、保護者のみなさんが、学校給食と関わる取り組みから SDGsを考える機会となるよう「みんなの給食 ~給食から SDGsを考える~」を実施します。ご家庭や地域でも話題にしてみて下さい。

『SDGsえどがわ * 学校給食 * 10 の行動』

- O1 食材を無駄なく使って食べよう
- ○2 栄養バランスを考えて食べよう
- ○3 友達と協力して給食の準備、片付けをしよう
- ○4 水を大切にして手を洗おう
- ○5 食の安全に興味をもとう
- ○6 食文化の違いや食物アレルギーを知ろう
- 07 給食行事を通して絆を深めよう
- 08 牛乳パックをリサイクルしよう
- 09 プラスチックごみを減らそう
- 10 江戸川区産の小松菜を食べよう



1月27日(月)の給食は、「食材を無駄なく使って食べよう」「江戸川区産の小松菜を食べよう」をテーマに献立を考えました。

- * だしをとる時に使ったかつお節でふりかけ を作ります。
- *ゼリーフライは、おからをつかった郷土料理です。おからは豆腐を作るときにでてくる もので、半分程度が処分されています。
- * 小松菜のごま酢和えに、江戸川区産の小松菜をたっぷり使っています。